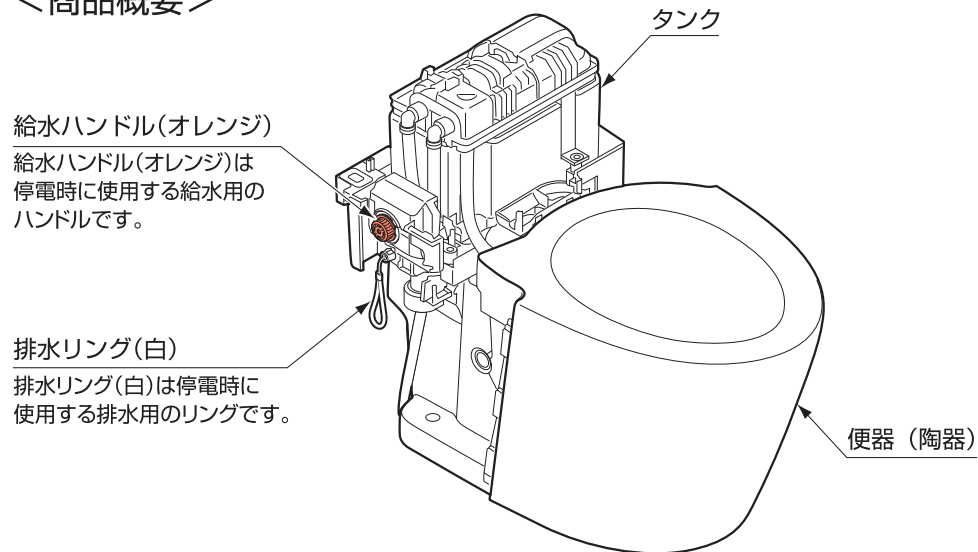
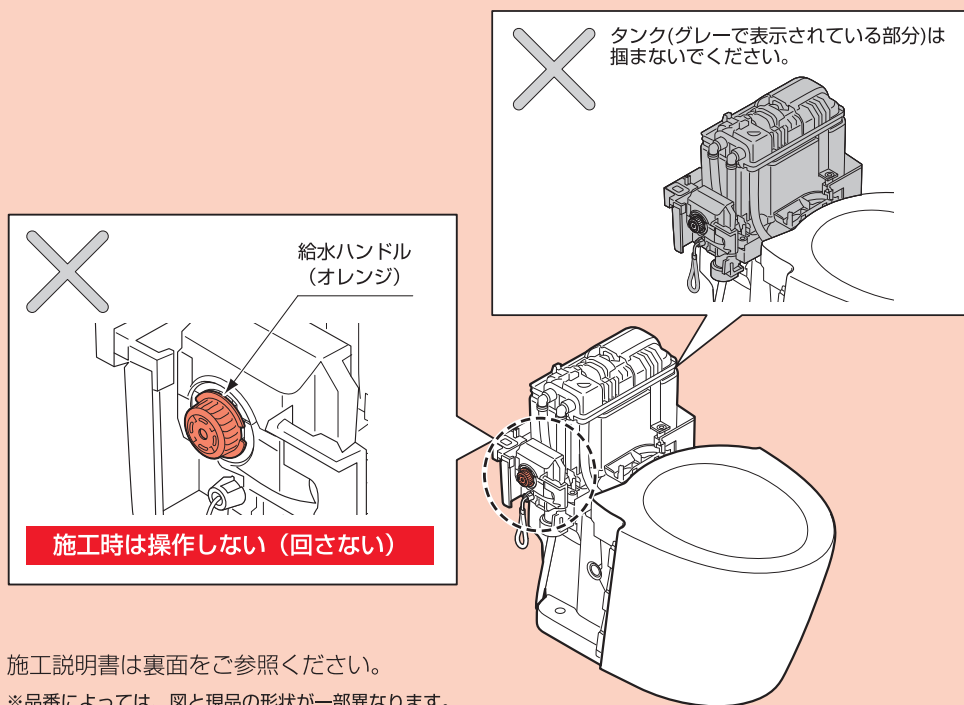


<商品概要>



施工時は注意してください



施工説明書は裏面をご参照ください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

ソケット取替ユニット (床排水)

◆本紙は床排水、排水心 200 mm(B:ヒーターなし、BH:ヒーター付仕様)の施工情報が確認できます。

■で表示している箇所は、新規性があることを示しています。

安全に関するご注意 2

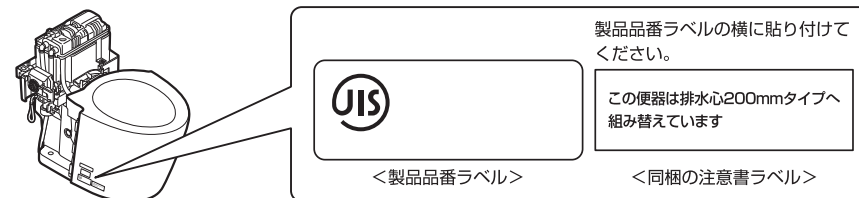
取り付け前のご注意 2～4

同梱部品 5
別売品・オプション品 6
各部のなまえ 6
施工手順 7
取付方法 7～14

取り付け後の確認 15

当商品は、「リモデル便器」を「排水心200mmリモデル便器」に
組み替えるためのユニットです。

●同梱の注意書ラベルを製品に貼り付けてください。



◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 注意 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「禁止」を示します。

! は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注意



禁止

便器に強い力や衝撃を与えない

便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす、火災が発生して家財などを燃やすなど、財産損害発生のおそれがあります。

給水フレキシホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない

給水フレキシホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない

止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

浴室など湿気の多い場所に設置しない

火災、感電、発熱、ショートの原因になります。



必ず実行

設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

正常な取り付けができなくなる可能性があります。

設置工事は、この説明書に従って確実に行う

故障や水漏れの原因になります。

取り付け前のご注意

<給水配管の確認>

- 施工前には、埋設されている給水配管などの位置を確認してください。
（破損するおそれがあります）

<必要な給水圧力について>

- 取り付けるウォシュレットによって、最低必要水圧が異なる場合があります。
ウォシュレットの施工説明書に記載している圧力範囲を確認してご使用ください。

<防火区画の対応について>

- 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認いただき、その指示に従ってください。
防火区画対応が必要だと指示された場合は、別売品の大便器背面カバー（防火区画対応）床排水用（品番：HM877）をご購入ください。

<取り付けスペース、取付面について>

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
（ドアが閉まらないおそれがあります）
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150 mm以上の空間を確保してください。（壁が変色する原因となります）
- 棚、収納キャビネットは、後ろ壁に床面から1401 mm以上、上に取り付けてください。
（1400 mm以下に棚、収納キャビネットを取り付けた場合は、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります）
- 取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060（Φ8、10個1組）」を別途手配してください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。

取り付け前のご注意

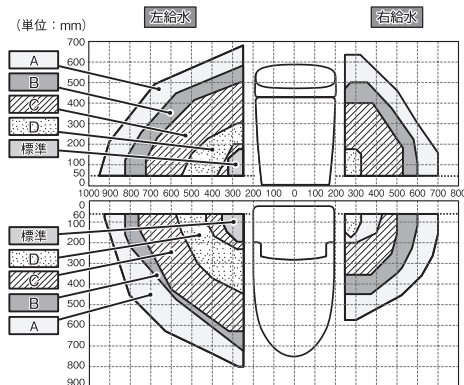
<メタルマークについて>

- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

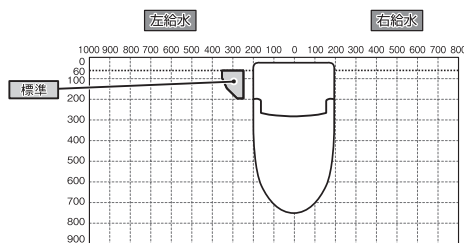
<給水管・排水管について>

- 施工前に給水管取り出し位置が下記「給水位置」に含まれていることを確認してください。
（所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります）

ヒーターなしの便器を取り付ける場合



ヒーター付便器を取り付ける場合



止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(上図参照)
標準	—	—	標準給水ホースでの止水栓取付範囲

止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(左図参照)
標準	—	—	標準給水ホースでの止水栓取付範囲
A	HM915	600 mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
B	HM914	525 mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲
C	HM913	450 mm	Cの給水ホースでの止水栓取付範囲
D	HM912	250 mm	Dの給水ホースでの止水栓取付範囲

- 給水ホースの到達範囲を示したものです。
ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくなる場合があります。
- 止水栓取付位置 **A**、**B**、**C**、**D**については、HM915、HM914、HM913、HM912を別途手配し、標準給水ホースに接続して取り付けください。

⚠ 注意



禁止

給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。



必ず実行

ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける
水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

※ヒーター付便器（水抜き方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
また、給水ホースHM915、HM914、HM913、HM912は使用しないでください。ホース内部の凍結のおそれがあります。

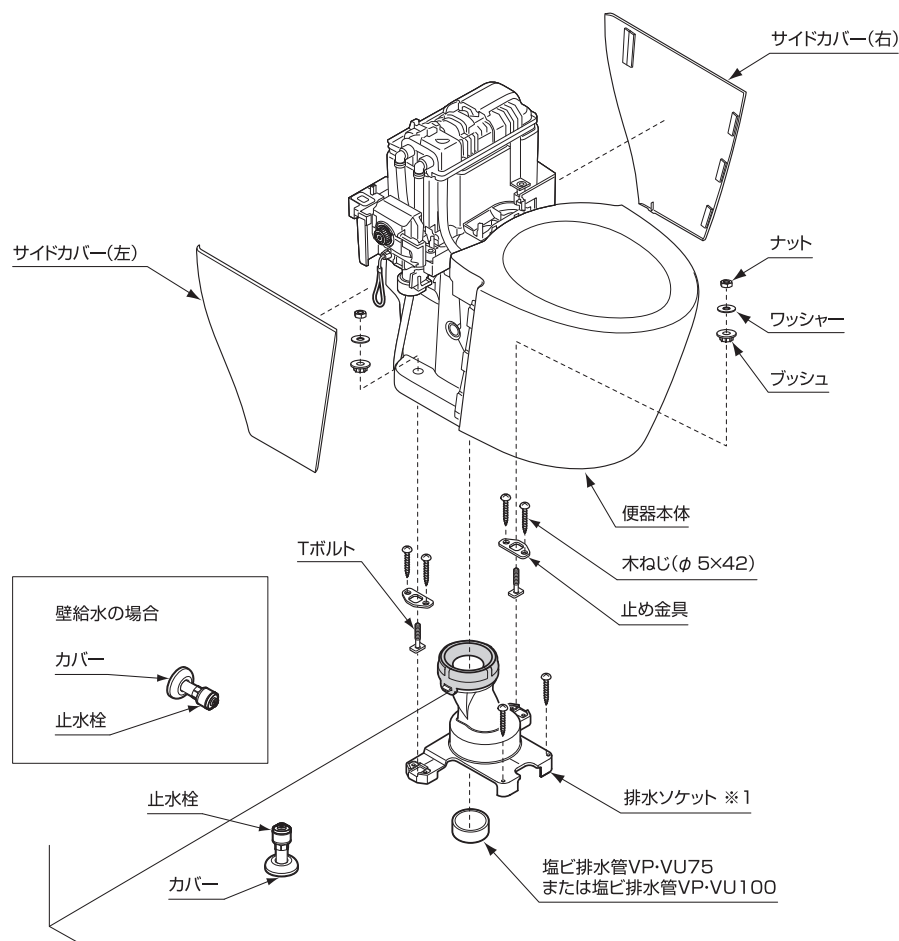
※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。
給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

別売品・オプション品

必要に応じて、準備してください。

名称	品番	準備が必要な場合
60 mm立ち上げ用アダプター (VP・VU75/100用)	HH01001R	排水管の立ち上げが55 mm未満になる場合
大便器背面カバー(防火区画対応)床排水用	HM877	所轄消防署より防火区画対応が必要だと指示された場合
給水延長用フレキホース(600 mm)	HM915	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(525 mm)	HM914	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(450 mm)	HM913	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(250 mm)	HM912	止水栓取付位置(P.3)が  の場合

各部のなまえ

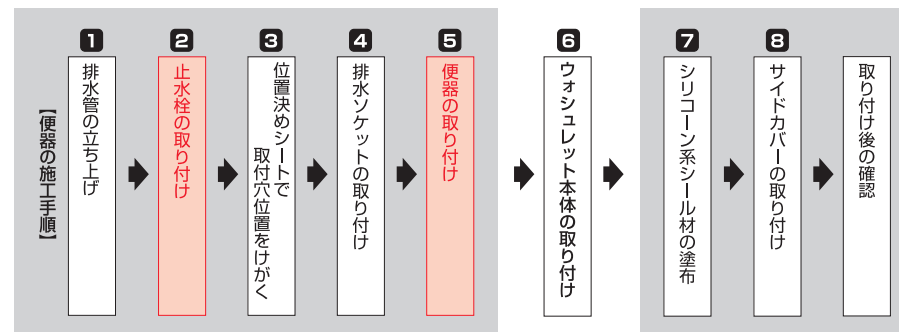


※1 排水心120 mmの場合、排水ソケットの取り付けの向きが排水心200 mmと異なります。排水ソケットの向きを間違えると便器が施工できないため、注意してください。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

は本紙、□ はウォシュレットの施工説明書をご参照ください。



取付方法

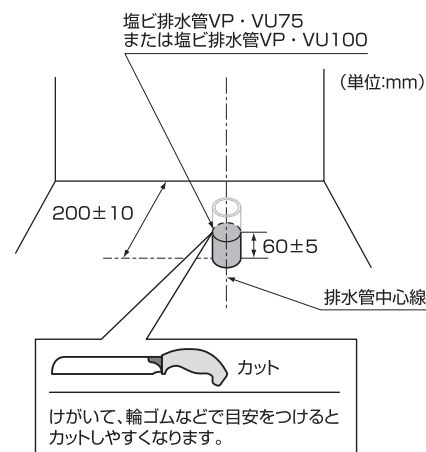
1 排水管の立ち上げ

① 排水管を所定の位置に取り出す。

※排水管が55 mm未満になった場合は、立ち上げ用アダプター（品番：HH01001R）を取り付けてください。

取付方法は立ち上げ用アダプター同梱の施工説明書を参照ください。

※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。



⚠ 注意



必ず実行

排水管の立ち上げ寸法が55 mm未満の場合は、立ち上げ用アダプターHH01001R(オプション)を使用する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

動画を見る

立ち上げ用アダプター取付方法



※排水管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シーリング材にて充てんしてください。階下に水漏れが発生するおそれがあります。

防カビ性のシリコン系シーリング材



取り付けの時に確認

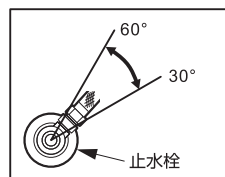
取付方法

2 止水栓の取り付け

止水栓の角度を確認して取り付けてください

床給水の場合

- ① 止水栓を 30°～60° の範囲内に取り付け。



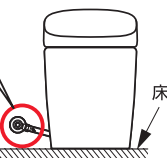
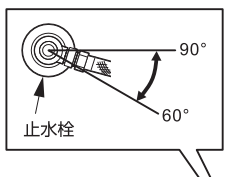
※ヒーター付便器(水抜き方式)の場合、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。

※上記の角度の範囲以外で止水栓を取り付けた場合、給水ホースのキンクや、サイドカバーの外れ、浮き、変形などのおそれがあります。

※給水管取り出し位置が「給水位置」 A B C D の場合、給水位置に合わせて止水栓の取り付け位置と角度を調整してください。

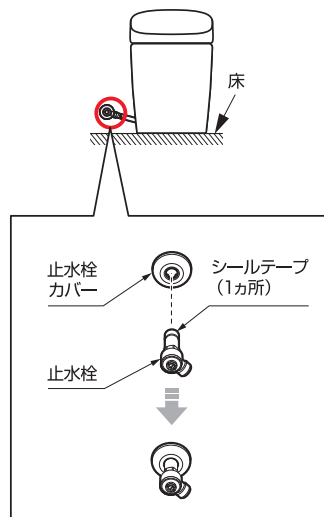
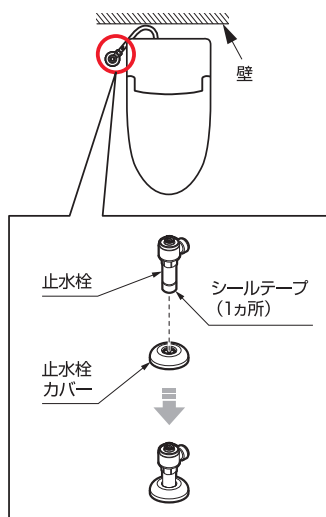
壁給水の場合

- ① 止水栓を 60°～90° の範囲内に取り付け。



⚠注意

- 必ず実行** 止水栓を指定の角度の範囲で取り付ける
誤った角度に取り付けると洗浄不良や水漏れのおそれがあります。
- 試運転後は接続部において水漏れていないか確認する
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

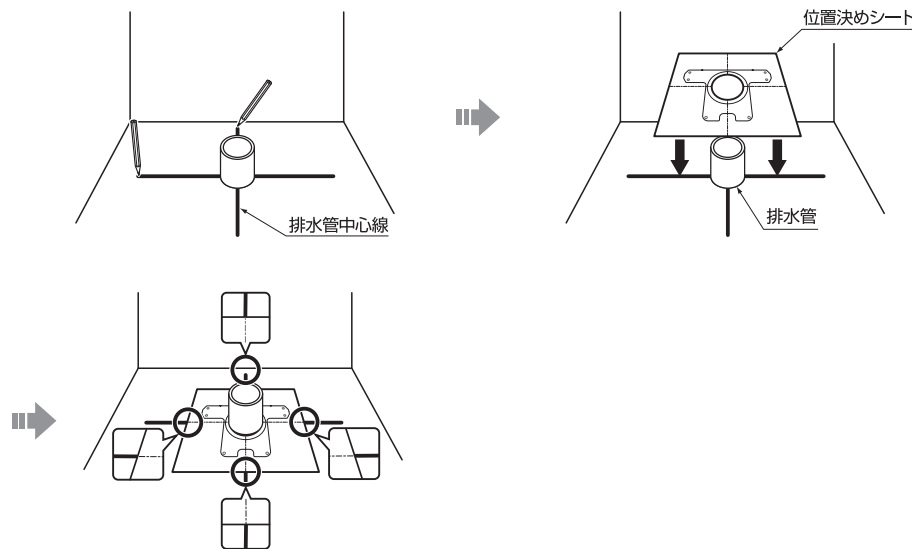


・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。
※取り付け時、止水栓の向きに気をつけてください。

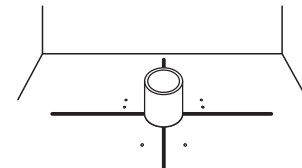
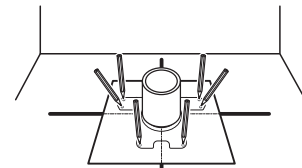
取付方法

3 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- ① 床面に排水管の中心線をけがき、位置決めシートをけがいた排水管の中心線に合わせて床面に置く。



- ② 排水ソケット取付穴位置(6カ所)をけがく。
けがいたあと、位置決めシートを取り外してください。
- ③ けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



<排水心120 mmの場合 取付穴位置のけがく方法>
排水ソケットの向きが排水心200 mmの場合と異なりますので、同梱の位置決めシートは使用できません。
壁面に幅木がありソケットが取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

- ① 排水ソケットをイラストと同じ向きに仮置きし、排水ソケット取付穴位置(6カ所)をけがく。
※排水ソケットの前後向きを間違えると便器が施工できなくなります。



- ② けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。

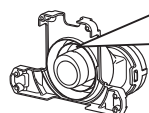
取付方法

4 排水ソケットの取り付け

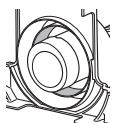
- 排水ソケットの内周と排水管の外周に塩ビ用接着剤を塗る。

⚠ 注意	
! 必ず実行	接着剤塗布位置を確認する 塗付位置を間違えると水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 また、臭気漏れの原因となります。
	接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する 片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 また、臭気漏れの原因となります。

<排水ソケット>



塩ビ排水管VP・VU75は  に
塩ビ用接着剤塗布

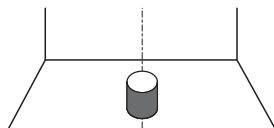


塩ビ排水管VP・VU100は  に
塩ビ用接着剤塗布



<排水管>

 の箇所に塩ビ用接着剤を塗布。



塩ビ排水管VP・VU75または塩ビ排水管VP・VU100
ともに同じ箇所に塩ビ用接着剤を塗布します。

取付方法

4 排水ソケットの取り付け

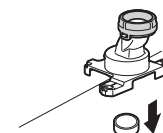
- 排水ソケットが床面につくまで排水管に押し込む。
※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。



⚠ 注意	
! 必ず実行	排水ソケットの下面が床面につくまで押し込む 押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 また、臭気漏れの原因となります。

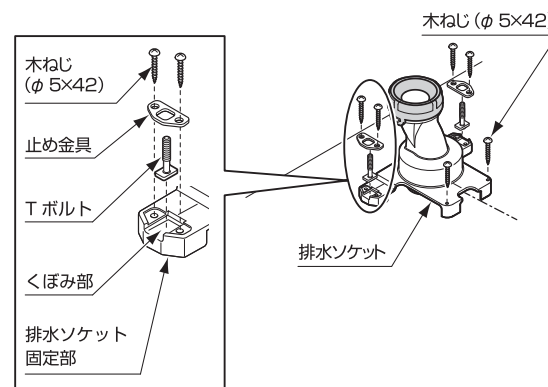
<排水心120 mmの場合>
排水ソケットの向きが排水心200 mmの場合と異なります。

- 排水ソケットをイラスト通りの向きで、床面につくまで排水管に押し込む。
※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。



- 排水ソケット固定部（2カ所）に、Tボルト、止め金具の順でセットし、排水ソケットを木ねじで床（6カ所）に固定する。

※排水ソケットのくぼみ部に、Tボルトの頭部を確実にめ込んでください。
便器の取り付け時にTボルトが干渉するおそれがあります。



取付方法

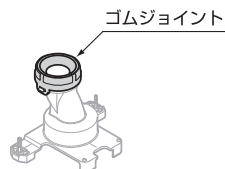
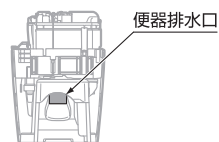
＜別売品の大便器背面カバー(防火区画対応)床排水用を取り付ける場合＞

以降の取付方法は、大便器背面カバー(防火区画対応)床排水用同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

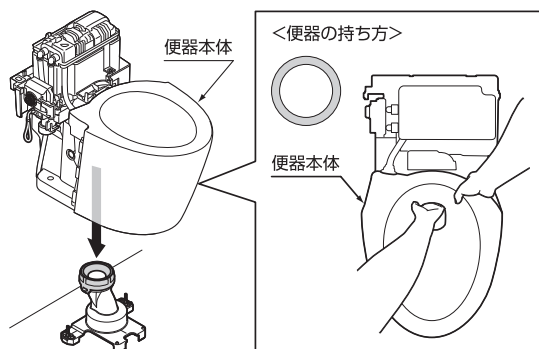
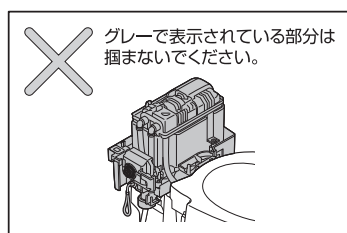
5 便器の取り付け

- ① 便器排水口および排水ソケットのゴムジョイントのごみや汚れを取り除く。

＜後ろから見た図＞

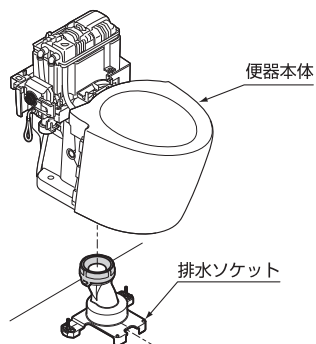


- ② 図示の通りに便器を持つ。



- ③ 便器排水口を排水ソケットに差し込む。

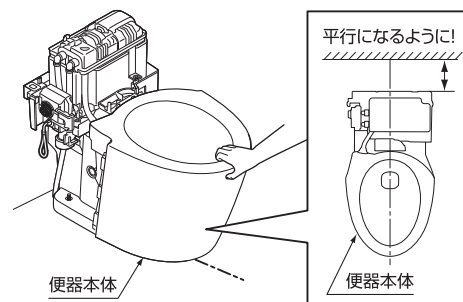
- ・目安として壁から10～15 mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
- ・壁に傷がつかないように差し込んでください。
- ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



取付方法

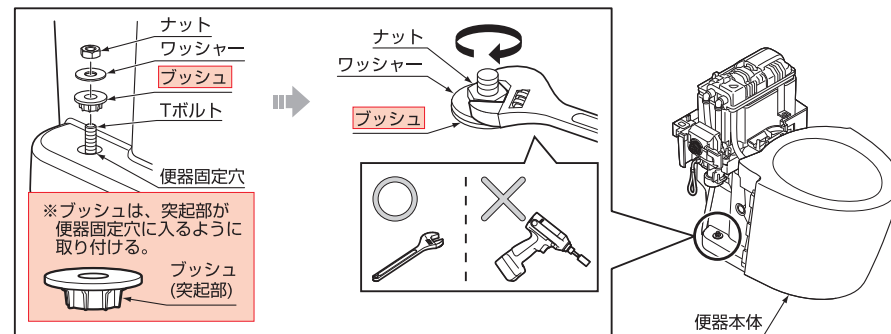
5 便器の取り付け

- ④ 便器本体が壁に平行になるように調整する。



- ⑤ Tボルト（左右2カ所）に**ブッシュ**、ワッシャー、ナットの順で取り付け、便器がガタつかないように締め付ける。

締め付け後に手で回して緩まないことを確認する。
※ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。



- ⑥ 同梱の注意書ラベルを製品に貼り付ける。



取り付け時に確認

取り付け時に確認

取付方法

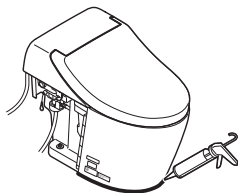
6 ウォシュレット本体の取り付け

- 1 ウォシュレット本体の施工説明書に従い、ウォシュレット本体を取り付ける。

7 シリコン系シール材の塗布

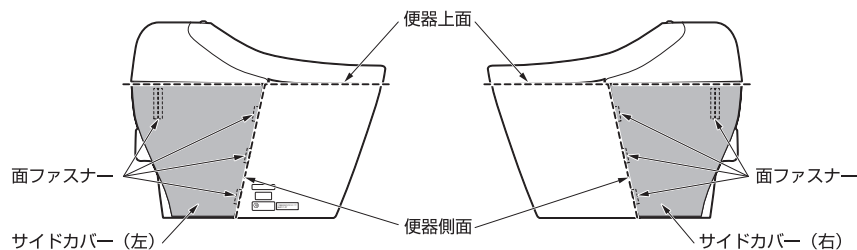
- 1 シリコン系シール材を塗布する。

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材を塗布することをおすすめいたします。



8 サイドカバーの取り付け

- 1 便器上面と便器側面に合わせて、便器とのすき間が目立たないようにサイドカバーを取り付ける。



面ファスナー部(4ヵ所)をしっかり押さえて、サイドカバー(左)とサイドカバー(右)が外れないことを確認してください。

※給水ホースは、サイドカバー(左)に干渉しないように取り回してください。

給水ホースを取り回すときは、給水ホースがキンクしないように注意してください。

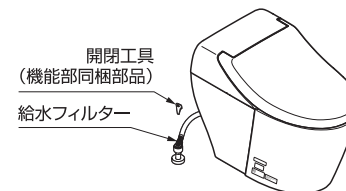
取り付け後の確認

<接続部の水漏れ確認>

- 試運転後はすべての接続部において水漏れていないか確認してください。
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

<止水栓の給水フィルター掃除>

- 試運転後、必ず止水栓を閉じて給水フィルターを「掃除」してください。
※機能部に付属の開閉工具で給水フィルターを外して、掃除してください。
※フィルターの掃除後、忘れず止水栓を開けてください。



<便器の汚れがないか確認>

- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、当社商品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)が付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。
便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

<サイドカバーの取り付け確認>

- 便器とサイドカバーの間に目立ったすき間がないこと、浮き上がりがないことを確認してください。
すき間や浮き上がりがある場合、便器からサイドカバーが外れるおそれがあります。